

まちづくり協議会の開催報告

第18回まちづくり協議会
 ・開催日:6月23日(金)
 ・協議会出席者:17名

<議事内容>

- 今後のまちづくり協議会について
 - まちづくり協議会の役割
 - まちづくり協議会の体制と活動
- 溜まり空間の整備における意見聴取
 - 駅前溜まり空間(東側)の整備について
 - 駅前溜まり空間(西側)の整備について
 - 事業スケジュールについて



第19回まちづくり協議会
 ・開催日:8月4日(金)
 ・協議会出席者:13名

<議事内容>分倍河原駅周辺まちづくりの考え方

- まちづくり基本計画について
- 歩行者中心のまちづくりの考え方
- 駅周辺・駅前空間の整備範囲について
- 駅周辺・駅前空間の整備について
 - 整備の考え方
 - 高低差の処理
 - 鉄道事業者との協議
- バリアフリーの考え方
- 整備後のイメージについて



第20回まちづくり協議会
 ・開催日:11月16日(木)
 ・協議会出席者:16名

<議事内容>分倍河原駅周辺まちづくりの考え方2

- 前回の説明内容
- 前回いただいたご意見と市の見解について
 - 溜まり空間
 - スロープ・バリアフリー
 - その他
- 都市・地域交通戦略協議会の意見について
- 今後の予定
- まとめ

【ご意見】

- 市から詳しく説明されたまちづくりの考え方について、協議会として後押しをしていく。今後の課題については引き続き意見交換する場は設けてほしい。
- バリアフリールートが誰にでもわかりやすく認識できるように、設計段階で工夫するともっと良くなる。
- 駅前整備は良いことだが、それによって店舗が減少するなかで商店街自体の活性化をどのように考えていくべきか、同時に検討を進めていく必要がある。
- 商店街の若い方々が互いに腹を割って話しあっている場が持てればもっと良くなる。

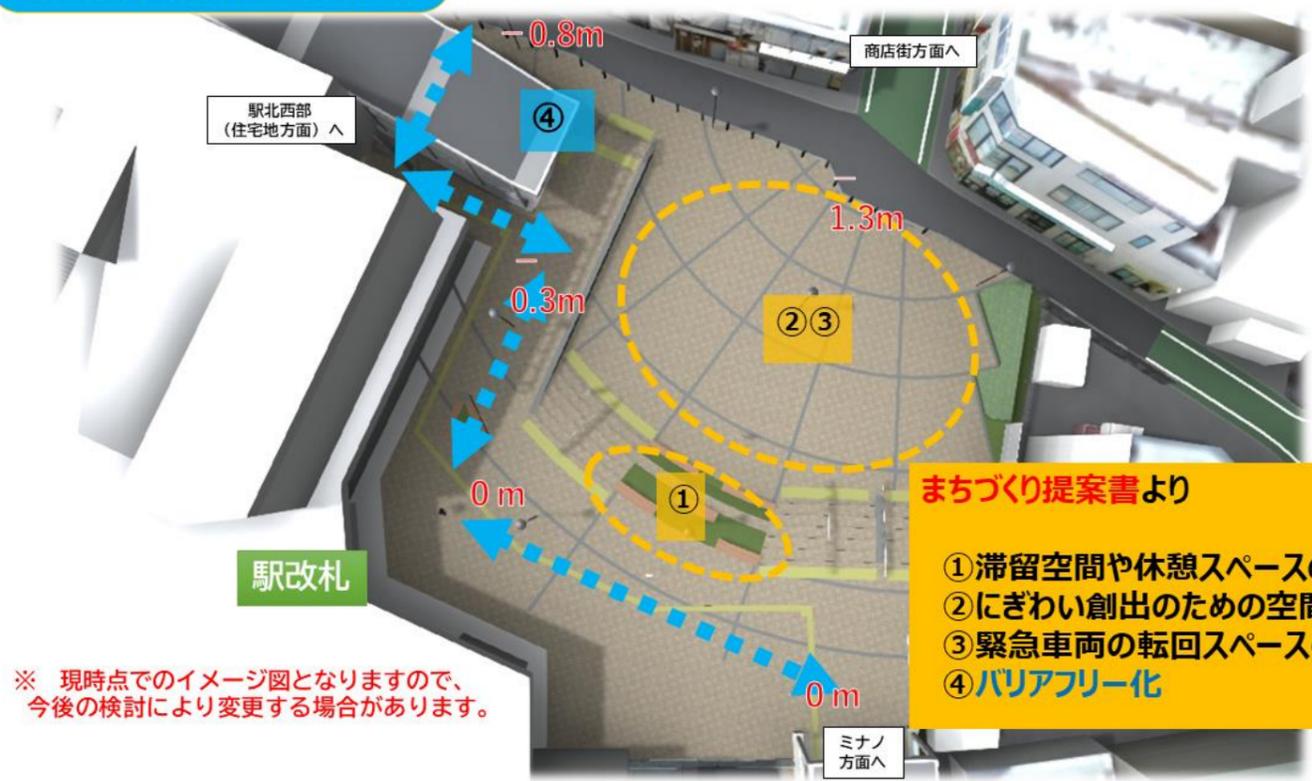
第18回にて「課題が見える化してほしい」「総合的な視点で検討したい」等の意見があったことから、まちづくり全体の考え方についてVR等を用いて、地元で改めて説明するために開催した。

第19回にて「溜まり空間の階段をなくしてフラットにできないか」等の意見があったため、溜まり空間の高低差処理やバリアフリーについて具体的に解説し、整備への理解を深めるため開催した。

駅前溜まり空間の整備の考え方についてまちづくり協議会の同意をいただいた。今後も進捗を報告するとともに、「にぎわいづくり」などについても地元と検討を深めていく予定。

第20回で説明した主な内容

整備後の駅前空間のイメージ



まちづくり提案書より

- 滞留空間や休憩スペースの確保
- にぎわい創出のための空間
- 緊急車両の転回スペースの確保
- バリアフリー化

※ 現時点でのイメージ図となりますので、今後の検討により変更する場合があります。

障害を持つ方へのヒアリング

府中視覚障害者福祉協会とCILふちゅう(障害者の自立支援を行う団体)へのヒアリング

目的: 障害を持つ当事者の方に計画段階からご確認いただくことで、バリアフリー化された誰もが歩きやすいまちを目指す
 ご意見: バリアフリー基準に沿っているのだからそのまま進めていただきたい(CIL) 現地を事前に歩くことで分倍河原の歩きづらさを実感した。計画は十分に分かった。(視覚協会)



その他

- 溜まり空間の整備に係る他地区事例
 - 都市・地域交通戦略協議会の開催報告
 - 今後のスケジュール
- などについてご説明し、各委員からご意見をいただきました。

